



2026年5月15日

各位

会社名 MIRAINI ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 木村 守孝  
 (コード番号：546A 東証プライム・名証プレミアム市場)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 小山 琢磨  
 (TEL：050-3190-3111)

## 2027年3月期の連結業績予想並びに 株主還元に関する基本方針及び配当予想に関するお知らせ

当社はこのたび、2027年3月期の連結業績予想並びに株主還元に関する基本方針及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想について

(1) 2027年3月期 中間期連結業績予想数値 (2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
中間期	百万円 230,000	百万円 5,000	百万円 4,000	百万円 9,500	275円 27銭

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん発生益)の影響を除いた1株当たり中間純利益は63円75銭となります。

(2) 2027年3月期 通期連結業績予想数値 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 500,000	百万円 12,000	百万円 10,000	百万円 13,500	391円 17銭

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん発生益)の影響を除いた1株当たり当期純利益は179円65銭となります。

#### (3) 業績の見通しについて

当社は、2026年4月1日に佐鳥電機と萩原電気ホールディングスの経営統合により発足いたしました。両社の強みを融合し、デバイスからデータ活用サービスに至るまでの垂直統合型ソリューションの提供を一層強化するとともに、製造業に加え社会インフラ領域や他業種への展開を通じて、持続的な企業価値の向上を目指しております。

当社を取り巻く外部環境は、足元は地政学リスクや為替変動等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方でエレクトロニクス業界におきましては、車載市場では電動化の進展等を背景に、中長期的な需要拡大が期待されております。また、産業市場においては、企業のDX推進や生成AIの活用拡大を背景として、ITインフラ投資や高度なソリューションへの需要が加速しております。さらに、インド市場においては、インフラ整備や自動車関連分野を中心とした製造業の振興を背景に、力強い経済成長が継続しております。

こうした環境を踏まえ、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、統合初年度であることから各種施策は検討段階にあるものの、両社の経営資源の融合を進め、今後シナジーの創出を着実に推進していくことを前提に策定しております。

なお、2026年4月1日付で公表いたしました「特別利益(負ののれん発生益)の計上に関するお知らせ」とおり、当第1四半期においては、経営統合に伴う特別利益として負ののれん発生益を計上する見込みであり、現時点における見込額73億円を本業績見通しに織り込んでおります。

(参考) 佐鳥電機及び萩原電気ホールディングスの前期連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
佐鳥電機(3Q累計実績) (2026年5月期)	121,395	2,820	2,840	1,948	135.61
佐鳥電機(通期予想) (2026年5月期)	160,000	3,600	3,500	2,600	180.96
萩原電気ホールディングス (2026年3月期)	271,918	6,269	5,647	1,514	151.94

※佐鳥電機の2026年5月期連結業績は、2025年6月1日～2026年2月28日までの9か月間の数値となります。通期業績のご参考として2026年1月14日開示の通期業績予想値を併記しております。

※萩原電気ホールディングスの2026年3月期連結業績は、2025年4月1日～2026年3月31日までの12か月間の数値となります。

## 2. 株主還元に関する基本方針について

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定的かつ継続的な配当の実現を基本方針といたします。具体的には、配当性向40%～50%を目途とし、成長投資、財務健全性および株主還元のバランスを重視してまいります。

## 3. 配当予想について

### (1) 2027年3月期配当予想

1株当たり年間配当金				
第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	45.00	—	48.00	93.00

※2026年4月1日付で公表いたしました「特別利益(負ののれん発生益)の計上に関するお知らせ」のとおり、経営統合に伴う負ののれん発生益については、一時的な会計処理上の利益であり、実質的な資金創出を伴わないため、安定的な株主還元の観点から配当原資には含めない方針です。

(参考) 佐鳥電機及び萩原電気ホールディングスの前期の配当

	1株当たり年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
佐鳥電機 (2026年5月期)	—	44.00	—	00.00	90.00
萩原電気ホールディングス (2026年3月期)	—	90.00	—	95.00	185.00

※佐鳥電機は2026年5月期の期末配当に代えて、2026年3月31日を基準日とする1株につき46円の臨時配当を実施することを、2026年2月18日開催の佐鳥電機取締役会において決議しております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上